

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

大分県

●地域における現状・課題

【現状】

- ・地域によっては平日を含めた取り組みを始めている
- ・県としては地域移行を進める方向性で考えているが、市町村によっては地域連携から進める市もある
- ・検討委員会（協議会）は令和6年4月には全市町村で設置予定
- ・方針策定については令和6年7月には全市町村で策定予定

【課題】

- ・県や市町村等の方針に基づいた適切な休養日や活動時間の設定の徹底、見直し
- ・部活動指導における教職員の超過勤務の解消や経験のない競技などの指導による心理的負担の軽減
- ・市町村ごとの部活動の地域移行に関する取組の進捗状況管理
- ・生徒の多様なニーズや生徒数減少による課題（学校の小規模化等による既存部活動の休廃部等）への対応
- ・指導者の確保や受け皿となり得る団体の確保とシステムづくり（市町村単位）

●取組事項の概要

- ・豊後大野市 特定非営利活動法人朝地フレンドクラブに業務委託 計1中学校、4部活動を地域移行
- ・由布市 総括コーディネーターを配置 ・運営団体・実施主体との連絡調整・指導助言・指導者確保に向けての取組
- ・国東市 総括コーディネーターを配置 ・運営団体・実施主体との連絡調整・指導助言・指導者確保に向けての取組

●取組の成果、特に工夫した点等

（大分県）・下記、実証事業の成果を担当者連絡会にて横展開することで、地域移行に向けた市町村毎の取組を具体化させることができた。

（豊後大野市）・クラブの働きかけにより、女子バレーの指導者を確保することができた。

- ・休日だけでなく平日も含めての実証事業ができた。
- ・顧問、指導者連絡会議を年4回行い、スムーズな運営につなげることができた。

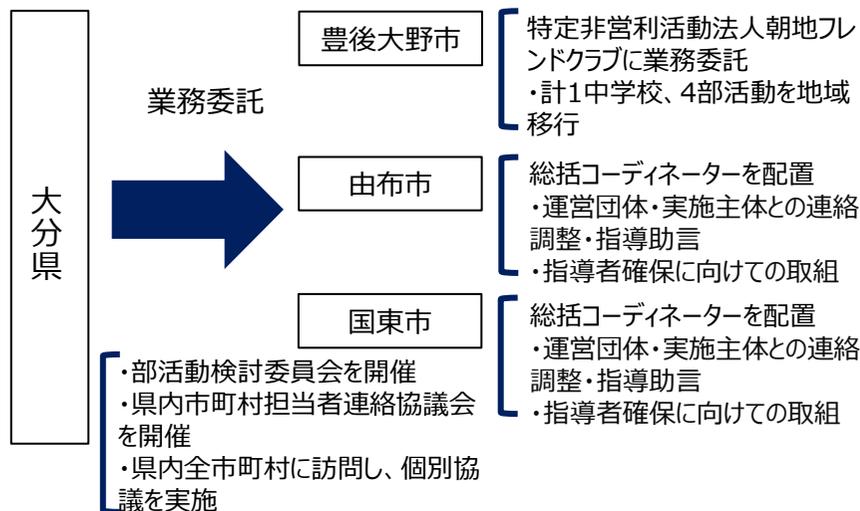
（由布市）・学校教育課、スポーツ振興課と連携しながら、指導者への訪問等を通じて今後の地域移行のための関係性を構築できた。

- ・現在指導している部活動指導者へ引き続き指導をお願いすることを確認し、また、指導者としての質の向上を図ることができた。
- ・総合型スポーツクラブH A S A M Aの取組を参考にしながら、令和6年度以降の他地域の取組を検討していく。

（国東市）・受け皿となるFC.KUNISAKIを地域クラブ活動に認定し、中体連主催の大会に出場することができた。来年度は、国東中学校の剣道部も地域クラブ活動として活動する。

- ・市内中学校と義務教育学校の校長との作業部会を年4回行い、現状把握や情報共有をすることができた。

●運営体制図



令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

大分県豊後大野市

●地域における現状・課題

- ・部活動に入る生徒数の減少、専門性や指導経験の少ない顧問の負担等から、地域クラブ活動として運動機会の保障を行う。
- ・クラブ運営費や指導者の確保が課題。

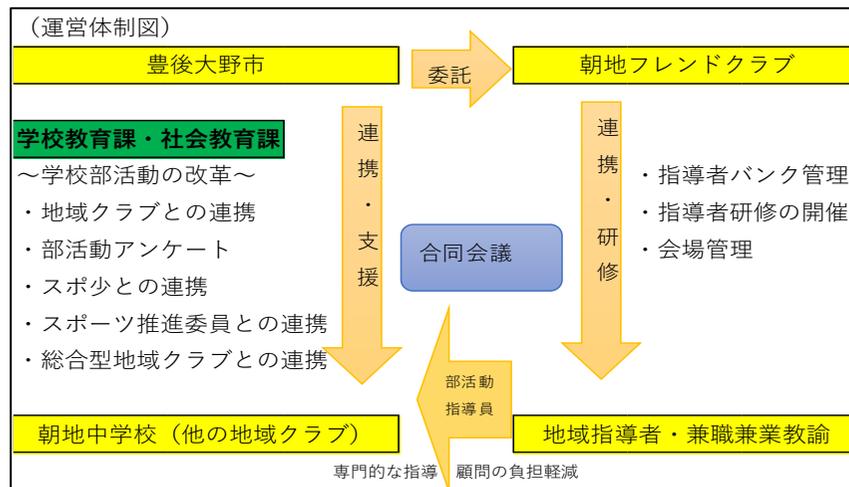
●取組事項の概要

- ・朝地フレンドクラブを運営主体として、平日及び休日の地域移行の実証事業を行う。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・クラブの働きかけにより、女子バレーの指導者を確保することができた。
- ・休日だけでなく平日も含めての実証事業ができた。
- ・顧問、指導者連絡会議を年4回行い、スムーズな運営や情報共有ができた。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：総合型地域スポーツクラブ
- (2) 運営主体：朝地フレンドクラブ
- (3) 種目：軟式野球、女子バレーボール、卓球、剣道
- (4) 指導者の主な属性：スポーツクラブ指導員
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：10回
- (6) 主な活動場所：朝地中学校、町体育館
- (7) 主な移動手段：徒歩、スクールバス
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：0円/年
- (7) 1人あたりの保険料：生徒800円/指導者1850円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

大分県国東市

●地域における現状・課題

国東市の運動部活動の現状

・年々生徒数と入部率が減少し、競技歴のない教師のみの指導体制である部活動があり、専門的な指導を十分受けられない現状がある中で、合同チームと部員数が少人数（3名以下）の部活動の生徒がジャンボタクシー等で移動し専門性のある指導者のもとで合同練習ができるように財政的な支援をしている。

地域連携・地域移行における国東市の課題

・地域の指導者と受け皿の確保が課題である。

●取組事項の概要

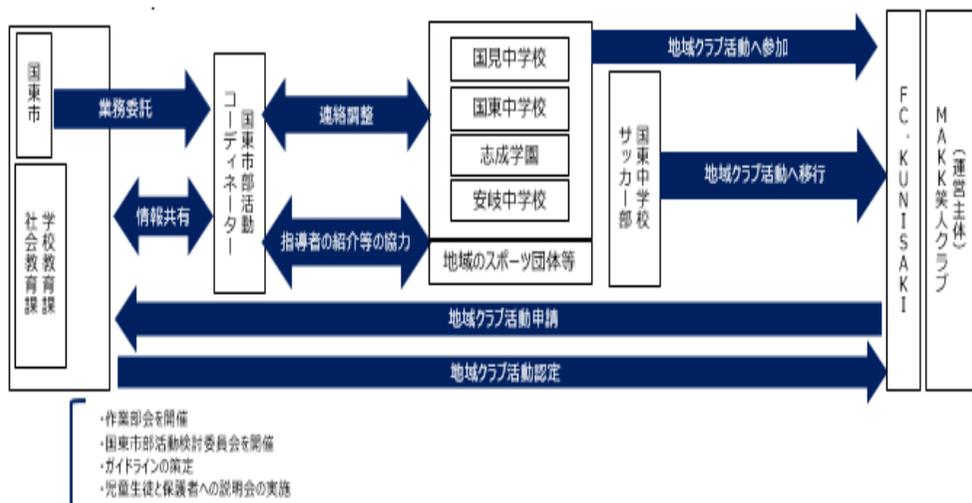
・国東市部活動コーディネーターを中心として、平日及び休日の地域移行の実証事業を行う。

●取組の成果、特に工夫した点等

・国東中学校のサッカー部が少人数のため、活動の継続が困難な状況の中、学校の地域移行のニーズに対応し、受け皿となるFC.KUNISAKIを地域クラブ活動に認定することで、中体連主催の県総体に出場することができた。来年度は、国東中学校の剣道部も地域の剣道団体が受け皿となり、地域クラブ活動として活動する。

・市内中学校と義務教育学校の校長との作業部会を年4回行い、各学校の部活動の今後の方向性について協議する中で現状把握や情報共有をすることができた。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：総合型地域スポーツクラブ
- (2) 運営主体：MAKK笑人クラブ
- (3) 種目：サッカー
- (4) 指導者の主な属性：スポーツクラブ指導員
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：16回
- (6) 主な活動場所：安岐多目的グラウンド
- (7) 主な移動手段：保護者輸送・自転車
- (8) 1人あたりの参加会費等（年額）：24,000円/年
- (9) 1人あたりの保険料（年額）：生徒1,200円／指導者1,200円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

大分県由布市

●地域における現状・課題

- ・令和5年度、「由布市学校部活動の地域移行へ向けた連携協議会」を3回開催し、「由布市基本方針」を作成した。
- ・令和6年度からは、挟間中学校区において「総合型スポーツクラブH A S A M A」が受け皿となって組織作りを行う。
- ・庄内及び湯布院中学校区の受け皿が未定であり、また、部活動を拠点校型として実施していく準備が必要。

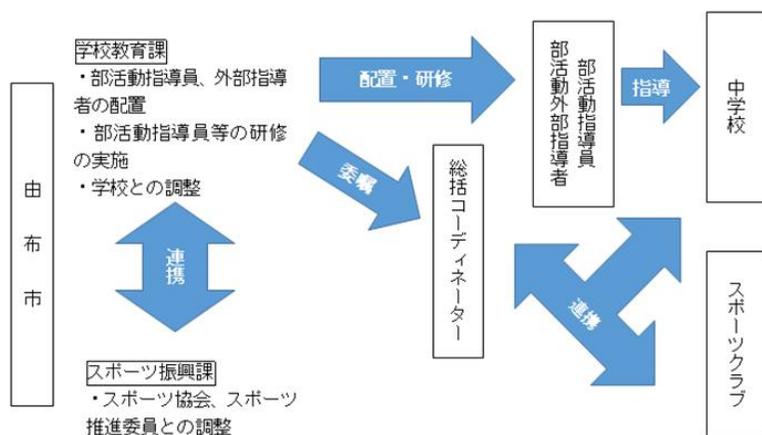
●取組事項の概要

- ・総括コーディネーターを設置し、各種団体と連絡調整体制を確立した。
- ・部活動指導員等研修会を年2回、地域移行へ向けた連携協議会を年3回開催し、地域移行に向けた取組を進めてきた。
- ・総合型スポーツクラブH A S A M Aを挟間地域の受け皿として、令和6年度は地域コーディネーターとして取組を拡大する。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・学校教育課、スポーツ振興課と連携しながら、指導者への訪問等を通じて今後の地域移行のための関係性を構築できた。
- ・現在指導している部活動指導者へ引き続き指導をお願いすることを確認し、また、指導者としての質の向上を図ることができた。
- ・総合型スポーツクラブH A S A M Aの取組を参考にしながら、令和6年度以降の他地域の取組を検討していく。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：地域スポーツ団体等運営型
- (2) 運営主体：総合型スポーツクラブH A S A M A
- (3) 種目：バドミントン
- (4) 指導者の主な属性：総合型地域スポーツクラブの指導者
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：令和6年4月から実施
- (6) 主な活動場所：総合型スポーツクラブH A S A M A
- (7) 主な移動手段：保護者による送迎、J R等
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：29,600円/年（予定）
- (7) 1人あたりの保険料：生徒800円/指導者1,850円